

2 川がつくる地形と海岸や海洋の特色

○川がつくる地形と生活との関わり

日本の地形：多くの()や()がある

→山々から流れる川が上流の山を削り、土砂を下流まで運ぶことでつくられる

※()とは、広く平らな土地のこと。()とは、まわりを山地で囲まれた低くて平らな土地のこと

平野に見られる地形

()^{***}とは、川が山間部から平野や盆地に出たところにてできる扇形の土地のこと

→扇状地の中央部は、水が地下にしみこみやすく果樹園などに利用される

()^{**}とは、川の河口部に見られる三角形に似た土地のこと

→水が地下にしみこみにくいため、水田として利用される。近年は住宅地として開発される

()とは、周りの平地より一段高くなっている土地のこと

→水が得づらく、畑や茶畑などに利用される。住宅地の開発も進む

○変化に富んだ日本の海岸

日本の海岸：山地が海にせまった海岸が多い

()^{***}とは、小さな^{みさき}岬と湾が複雑に入り組んだ海岸のこと

→波が穏やかで水深が深く、天然の良港として利用される

()や()に囲まれた海岸

→景色が美しく、観光資源にもなる

※()とは、砂浜が発達した海岸のこと。海岸に砂丘ができることもある

人工海岸とは、コンクリートの護岸で直線状になっている海岸のこと

→港や工場地帯がつくられた所や干拓によって農地が拡大された所などがある

○日本を取りまく海

日本列島近海の海底：浅くて平らな() (***)が広がる

※()とは、水深約200mまでの傾斜のなだらかな海底のこと

太平洋側の大陸棚の先：水深の深い()(*)がある

※()とは、プレートが接していて、海底が溝状に深くなる所のこと。日本海溝などがある

日本周辺の海流：()(*)と()(*)が流れており、優れた漁場となる

→暖流の黒潮(日本海流)と対馬海流、寒流の親潮(千島海流)やリマン海流などが流れる

→黒潮と親潮がぶつかる日本近海は()(*)となり、世界有数の漁場となる

※()とは、水温がまわりの海域より高い海流のこと。低緯度から高緯度へ流れる

()とは、水温がまわりの海域より低い海流のこと。高緯度から低緯度へ流れる

<日本周辺の海流>

